

# つくろう！ 地雷の無い大地

—命懸けの地雷撤去をしている大本俊志さんの生き方から学ぶ—

1 学年 第7学年〔中期〕

2 主題名 国際貢献〔4－〔10〕〕

3 ねらい

命がけの地雷撤去作業をしている大本さんの強い信念や行動を考えることを通して、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

4 資料名 「つくろう！ 地雷の無い大地」

5 展開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 地雷について、知っていることを発表する。 ○ 何の写真でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>土の中に埋まっている爆弾</li> <li>爆発しなくて残された爆弾</li> <li>知らずに踏むと大変だ。</li> <li>テレビで見たことがある。</li> </ul>	○ 写真を提示し、戦争との関係や危険性について補足し、資料への関心をもたせたい。
展開	2 資料「つくろう！地雷の無い大地」を読んで話し合う。 ○ 大本さんは、どんな気持ちでJMASに入ったのでしょうか。  ○ 現地入りした大本さんはどんな気持ちだったのでしょうか。  ◎ 大本さんは、なぜ命がけで撤去作業をしているのでしょうか。  ○ 今、自分たちができることを発表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地雷や不発弾で困っている国を救いたい。</li> <li>自分の力を試したい。</li> <li>困っている国の現状をもっと知りたい。</li> <li>すごくたくさんの地雷が埋まっているので危険だ。</li> <li>子どもがよく働き家族のためになっているので偉い。</li> <li>大本さんは、役立ちたい気持ちが強くなっている。</li> <li>自分がやらなければという使命感をもっている。</li> <li>これ以上、地雷の犠牲になる人を見たくない。</li> <li>子ども達が笑顔を失ってほしくない。</li> <li>本当の意味で、平和な時代を築きたい。</li> <li>ユニセフ募金に取り組んでいるね。</li> <li>勉強を頑張る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JMASのパフレットを見せて、地雷撤去や学校建設等の活動内容を紹介する。</li> <li>○ 大本さんの人柄や気持ちを想像させる。</li> <li>○ 日本との生活の違いについても考えさせる。</li> <li>○ 作業のつらさと同時に、カンボジアの現状を知り、地雷撤去作業を使命感としている大本さんの心の葛藤にせまらせたい。</li> <li>○ 身近にしている活動に気付かせる。</li> </ul>
終末	3 国際貢献に関するビデオを視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界には、色々な活動があるんだね。</li> <li>もっと広い視野で物事を見つめいきたい。</li> </ul>	○ 生徒の心に留まったことを「心のノート」(P.130～131)を活用するのもよい。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

陸上自衛隊を定年退官した大本さんが、カンボジアに赴き地雷撤去という困難な作業を命懸けで行っている。実際に現場で体験しながら自分の夢を実現しようとしている姿は、強心に訴えるものがある。この時期の生徒は、正義感が強いため、世界で起こっている不合理や矛盾についても興味や関心を示しやすい。

本資料を通じて、主人公の貴重な体験を、感動をもって追体験しながら、「国際理解」や「国際貢献」とは何かについて、改めて考える契機にさせると同時に、これまで体験してきた活動の意義を振り返らせ、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 活用時期

社会科の学習（7学年）や職場体験学習（8学年）と関連させながら扱うとよい。

#### イ 中心場面

大本さんの心の揺れや葛藤について、話し合いを進めたい。特に「どうして辺境の地まで来てこのような危険な活動をしているのか。」「日本で心配をしている家族はどう思っているのか」等について意見交流をさせたい。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

地雷撤去の様子の写真やJMASのパンフレットを見せる等により、活動の様子や世界中の紛争跡地が具体的に捉えさせたい。できれば服装、機械、道具等についても紹介し、資料への興味・関心をもたせたい。

#### イ 展開の工夫

カンボジアの気候や風土についても補説し、日本との共通点や違いを理解させたい。また、大本さんの行動と心情の変化を読み取らせながら、その思いに共感したり、疑問点を出し合ったりする等、活動を通してねらいにせまらせたい。

#### ウ ワークシートの活用

中心発問では、自分の考えをワークシートに書き、自分の意見をはっきりさせた後、意見交流をさせるとよい。

#### エ 終末の工夫

終末では、国際貢献のビデオを観て、みんなの役に立った喜びが共感できるようにして、静かな気持ちで学習を終えるようにしたい。また、できれば大本さんをゲストティーチャーとして招き、自身の活動に寄せる思いを語ってもらう場を設定したい。

### (4) 参考資料

日本地雷処理を支援する会（JMAS：ジェーマス Japan Mine Action Service）

URL：<http://www.jmas-ngo.jp>

（田原小学校 池田泰史）